

File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat 1968-2002/UD=200302
(c) 2003 EPO

1/39/1

DIALOG(R)File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat
(c) 2003 EPO. All rts. reserv.

9574376

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 2274681 A2 901108 <No. of Patents: 001>

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applic No	Kind	Date
JP 2274681	A2	901108	JP 8996769	A	890417 (BASIC)

Priority Data (No,Kind,Date):

JP 8996769 A 890417

PATENT FAMILY:

JAPAN (JP)

Patent (No,Kind,Date): JP 2274681 A2 901108

SMALL SNOW CAR (English)

Patent Assignee: HONDA MOTOR CO LTD

Author (Inventor): KITAMURA AKIRA; KAWASAKI KATSUTAKA

Priority (No,Kind,Date): JP 8996769 A 890417

Applic (No,Kind,Date): JP 8996769 A 890417

IPC: * B62M-027/02

JAPIO Reference No: ; 150035M000073

Language of Document: Japanese

File 347:JAPIO Oct 1976-2002/Sep(Updated 030102)

(c) 2003 JPO & JAPIO

*File 347: JAPIO data problems with year 2000 records are now fixed.
Alerts have been run. See HELP NEWS 347 for details.

1/5/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

03299181 **Image available**
SMALL SNOW CAR

PUB. NO.: 02-274681 [JP 2274681 A]
PUBLISHED: November 08, 1990 (19901108)
INVENTOR(s): KITAMURA AKIRA
KAWASAKI KATSUTAKA
APPLICANT(s): HONDA MOTOR CO LTD [000532] (A Japanese Company or
Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 01-096769 [JP 8996769]
FILED: April 17, 1989 (19890417)
INTL CLASS: [5] B62M-027/02
JAPIO CLASS: 26.2 (TRANSPORTATION -- Motor Vehicles)
JOURNAL: Section: M, Section No. 1074, Vol. 15, No. 35, Pg. 73,
January 28, 1991 (19910128)

ABSTRACT

PURPOSE: To improve the handling performance of a small snow car by providing the body of the snow car recessively with storage parts for enclosing operating pieces which are not operated during running as well as an enclosure wall with through holes.

CONSTITUTION: A shift lever 11, its storage part 12, a starter grip 13 and its storage part 14 are recessively provided at the right erect wall 10a. The shift lever 11 is rotatably accommodated in the storage part 12, and a through hole 15 and a duct 16 are provided at the lower part of a back wall 12b. The starter grip 13 is provided with a wire 17, extended from a recoil starter, connected at its tip and enclosed in the storage part 14 when its tensile strength is weakened, and a through hole 18 and a duct 19 are provided at a back wall 14b. When a small snow car 1 advances, the air taken in is warmed at an exhaust pipe and an engine and jetted backward from the through holes 15, 18 of the storage parts 12, 14. The legs of a rider are thereby warmed, a step 9 is prevented from being covered with snow, and the snow accumulated on the storage parts 12, 14 melts. In addition, as these operating pieces are enclosed in the storage parts during running, the rider is free from such annoyance as these operating pieces touching his body.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-274681

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)11月8日

B 62 M 27/02

A

6862-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 小型雪上車

⑯ 特 願 平1-96769

⑰ 出 願 平1(1989)4月17日

⑱ 発 明 者 北 村 亮 埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

⑲ 発 明 者 川 崎 勝 孝 埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

⑳ 出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山2丁目1番1号

㉑ 代 理 人 ・弁理士 下田 容一郎 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

小 型 雪 上 車

2. 特許請求の範囲

小型雪上車のボディ外に露出する操作子を適宜収納できる収納部を前記ボディに備えるとともに、この収納部壁に通孔を設けたことを特徴とする小型雪上車。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は小型雪上車の改良に関する。

(従来の技術)

前に1本又は2本のかじ取り用スキーと、後にキャタピラ状駆動用トラックベルトを備えて雪の上を走行する所謂スノーモービルは、交通、運搬、レジャー用として普及しつつある。

このスノーモービルはブルドーザのような大型雪上車と区別して小型雪上車と呼ばれ、軽量・小型であるが故に、従来の雪上車と異なり、

特開昭51-47712号公報には、小型雪上車の従来例が示されている。この小型雪上車には、リコイルスタータと称する手動式始動装置が装備され、このスタータを回動する為のスタータハンドル(73)がボディ外に露出している。

(発明が解決しようとする課題)

上記スタータハンドル(73)はT字形又は環状形をなし、ボディ外に露出しているために、雪上車の走行中であつては、ボディと共に振動して乗員を損ね、また乗員の身体に当る虞れがあり、好ましいとは言えない。

(課題を解決するための手段)

上記不都合を解決すべく本発明はスタータハンドル等操作子を収納できる収納部をボディに備える。そして、この収納部壁に通孔を設けたことを特徴とする。

(作用)

当該操作子を非作動時に収納部に収納する。ま

(実施例)

本発明の実施例を添付図面に基づいて以下に説明する。

第1図は本発明に係る小型雪上車側面図である。

小型雪上車1は、ボディ2の前部下部にスキー3、3、後部下部にトラックベルト4を配設するとともに、ボディ2の前部内部に前記トラックベルトを駆動するエンジン5を収納し、その後方に前記スキー3、3を右・左に回転せしめるステアリングハンドル6を起立し、後部上部にシート7を配設してなる。

第2図は第1図の平面図であり、前記エンジン5前方からこのエンジンを囲む様に、排気マニホールド8a、排気管8b、消音器8cからなる排気管8が配置されている。

また、シート7の両側には一段低いステップ9、9が形成されている。

前記エンジン5等を覆うボディ前部上面2aとステップ9、9とは略垂直な起立壁10a、

の下部に通孔15…が開けられている。

この通孔15…にダクト16が取付けられている。このダクト16は円錐形集風管16aとその基部から下方へ分岐したドレーン管16bとからなる。

第6図はスタータグリップ及び同収納部の拡大図であり、第7図は第6図のC-C線断面図である。

スタータグリップ13はその先端にリコイルスタータから延出したワイヤ17を結合し、図示矢印方向に移動してリコイルスタータを回動する。このスタータグリップ13はボディ2に凹設したグリップ収納部14に収納可能である。即ち、スタータグリップ13は引張力を弱めるとリコイルスタータの弱い引き力によって図右方へ引き戻され、収納部14に近接する。

グリップ収納部14にはグリップ保持爪14a、14aが設けられていて、これらの爪14a、14aにてスタータグリップ13は収納部14に保持される。更に、グリップ収納部14

10bで連続的に結ばれている。

第3図は第2図のA斜視図であり、右起立壁10aにはシフトレバー11、シフトレバー収納部12及びスタータグリップ13、同収納部14が設けられている。

シフトレバー11は、後進若しくはパーキングの為に設けられるもので、手前に引きおこして上記作用を為さしめる。

スタータグリップ13はエンジン5のリコイルスタータにワイヤを介して連結し、リコイルスタータを回動してエンジンを始動する役割をする。

第4図はシフトレバー及び同収納部の拡大図であり、第5図は第4図のB-B線断面図である。

シフトレバー11はその上部にピン11aを貫通せしめ、揺動可能とされている。そして、このシフトレバー11は第5図矢印方向に回動されてレバー収納部12から引き起こされる。

この収納部12には乗員の指を差し入れうる空間12aが確保されているとともに、奥壁12b

の奥壁14bには適宜通孔18…が明けられ、これら通孔18…に第5図で述べたと同構造のダクト19が取付けられている。

以上に述べた小型雪上車の作用を次に述べる。

乗員はシート7に跨がり、エンジンキー（図示せず）を差し込み、シフトレバー11が手前に起こされている場合にはシフトレバー11を倒してレバー収納部12へ収納し、次いでスタータグリップ13をグリップ収納部14から引き出して手前に強く引いてエンジン5を始動せしめる。

エンジン5が始動して後、乗員は第8図に示すようにスタータグリップ13をグリップ収納部14に納める。

エンジン5の暖機運転にともなうエンジン周囲の空気は暖まり、小型雪上車1が前進すると、第8図及び第9図に示す如く、前面グリル2bから取り込んだ空気は排気管8及びエンジン5で暖められて、前記レバー収納部の奥壁通孔15…から後方へ噴出する。同様に暖かい空気の一部はグリップ収納部の奥壁通孔18…から外方へ吐出す

る。

よって、これら通孔から吐出する暖かい空気は乗員の脚部を暖め、更にその一部はステップ 9、9 を暖めてステップ 9、9 上の積雪を阻止する。

なお、第 8 図に示す通孔 20…は右起立壁 10a に設けた通孔 15…に倣って左起立壁 10b に明けられたものである。

ところで、小型雪上車は積雪地帯にて使用されるものであるから、ボディー 2 に凹設形成したシフトレバー収納部 12 やグリップ収納部 14 には雪が溜る。

しかし、この雪は各収納部の奥壁に設けた通孔 15…、18…から吹き出す空気の熱で融かされる。融かされて生成した水はダクト 16、19 のドレーン管 16b、19b を介して路面、雪面へ落下排出される。

(発明の効果)

以上に述べたように本発明は、雪上車のボディーに収納部を凹設し、この収納部壁に通孔を設け、上記収納部に走行時には非操作である操作子、例

えばパーキング用シフトレバー、バック用シフトレバー、始動用スタータグリップ等を収納するようにしたことを特徴とする。

従って、これら操作子がボディ外に露出して乗員の身体に接触したり、振動して美観を損ねるとき不具合は無くなり、小型雪上車の取扱性をも向上せしめる。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本発明に係る小型雪上車側面図、

第 2 図は第 1 図の平面図、

第 3 図は第 2 図の A 斜視図、

第 4 図はシフトレバー及び同収納部の拡大図、

第 5 図は第 4 図の B-B 線断面図、

第 6 図はスタータグリップ及び同収納部の拡大図、

第 7 図は第 6 図の C-C 線断面図、

第 8 図、第 9 図は作用説明図。

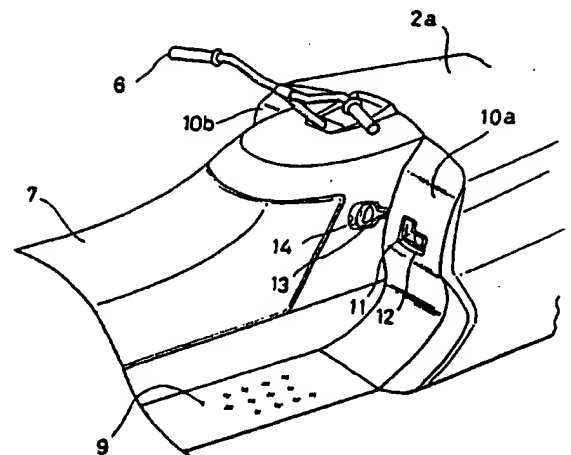
1…小型雪上車 2…ボディ

11、13…操作子としてのシフトレバー、
スタータグリップ

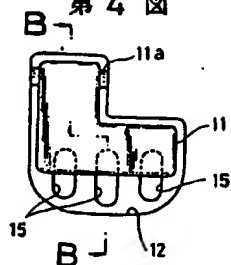
12、14…収納部 15、18…通孔

特許出願人	本田技研工業株式会社
代理人	弁理士 下田 容一郎
同	弁理士 大橋 邦彦
同	弁理士 小山 有

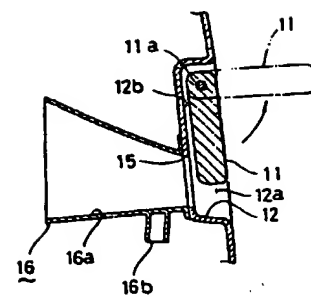
第 3 図



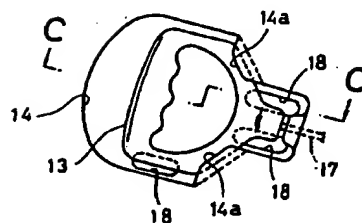
第 4 図



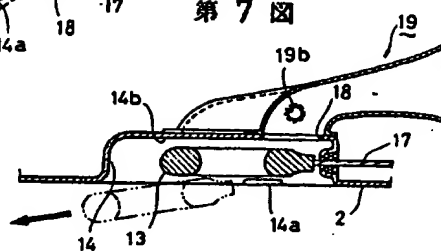
第 5 図



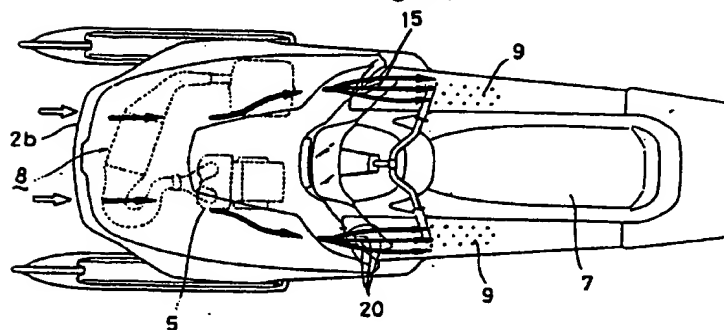
第 6 図



第 7 図



第 8 図



第 9 図

